

令和6年9月20日

神戸市指定給水装置工事事業者 各位

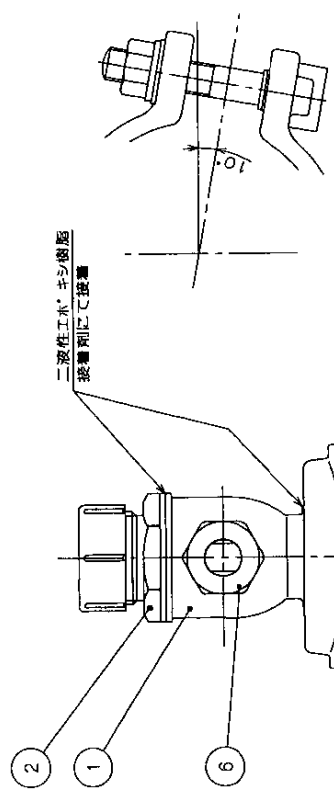
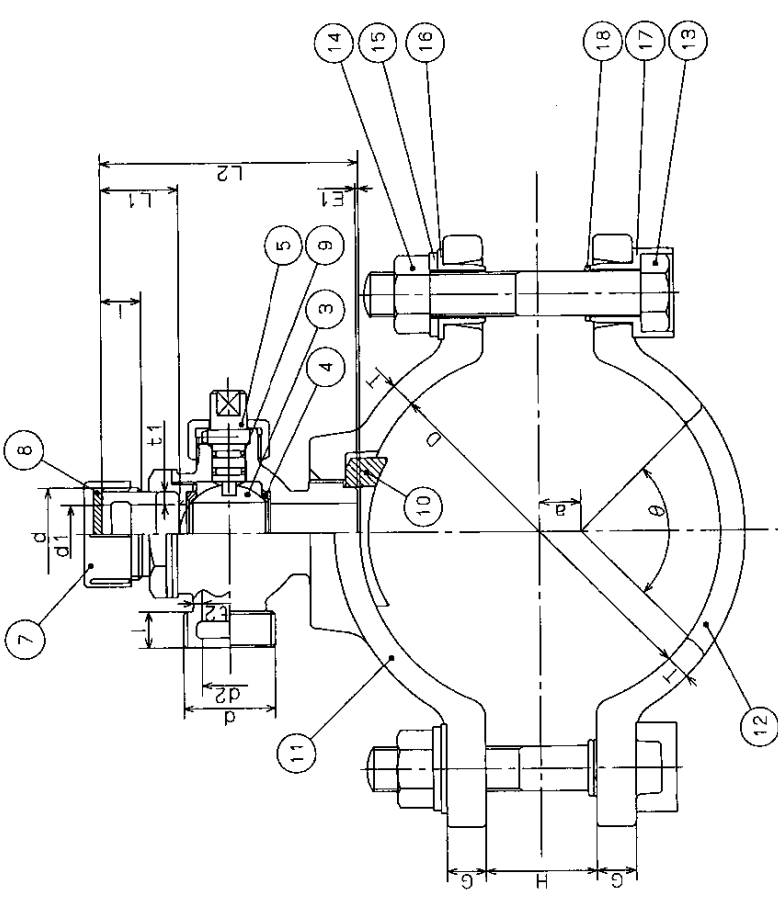
神戸市水道局

サドル付分水栓の口径変更に伴う使用承認について (通知)

みだしについて、下記のとおり使用承認しましたので、お知らせします。

記

- 1.申請者 株式会社 光明製作所  
代表取締役 金村 哲志
- 2.品名等 (1) 水道用サドル付分水栓  
ダクタイル鋳鉄管用  
口径：75～300×20、40  
硬質ポリ塩化ビニル管用  
口径：40～150×20、40
- 3.形状等 別紙のとおり。
- 4.規格 JWWA B 117
- 5.製品の検査 上記4の規格に基づく(公社)日本水道協会検査部による規格品検査。
- 6 製品への標示 (公社)日本水道協会検査規定に基づく検査合格証印の標示。
- 7.現場検査 局職員が現場にて前項の標示を確認する。
- 8.承認年月日 令和6年10月1日



○は、NPb処理品とする。  
 サドル機構の呼び径75の場合

18	リング	合成ゴム	2	75~150の場合
17	絶縁体(下)	合成樹脂	2	ポリカボネート
16	絶縁体(上)	合成樹脂	2	ポリカボネート
15	底金	SUS304	2	
14	ナット	SUS304	2	熱処理品
13	ボルト	SUS304	2	
12	バンド	FC0450	1	エポキシ樹脂接着剤
11	サドル	FC0450	1	エポキシ樹脂接着剤
10	ガスケット	合成ゴム	1	NBR
9	リング	合成ゴム	2	NBR
8	パッキン	合成ゴム	1	NBR
7	閉栓キャップ	CAC406	1	
6	保護ナット	8X8X88c	1	
5	栓棒	CAC406C	1	SUSピン付
4	ボールシート	合成樹脂	2	PTFE
3	ボール	CAC406C	1	
2	ボール押え	8X8X88c	1	
1	本体胴	CAC406	1	

備考  
 1) d押ねは、JIS B 0202 (管用平行ねじ)B級とする。

正水機構の呼び径	d	t1	t2	d1	d2	L1	L2	L	W	a	theta	H
20	G	1	4.5	3.0	21	21	95	3				

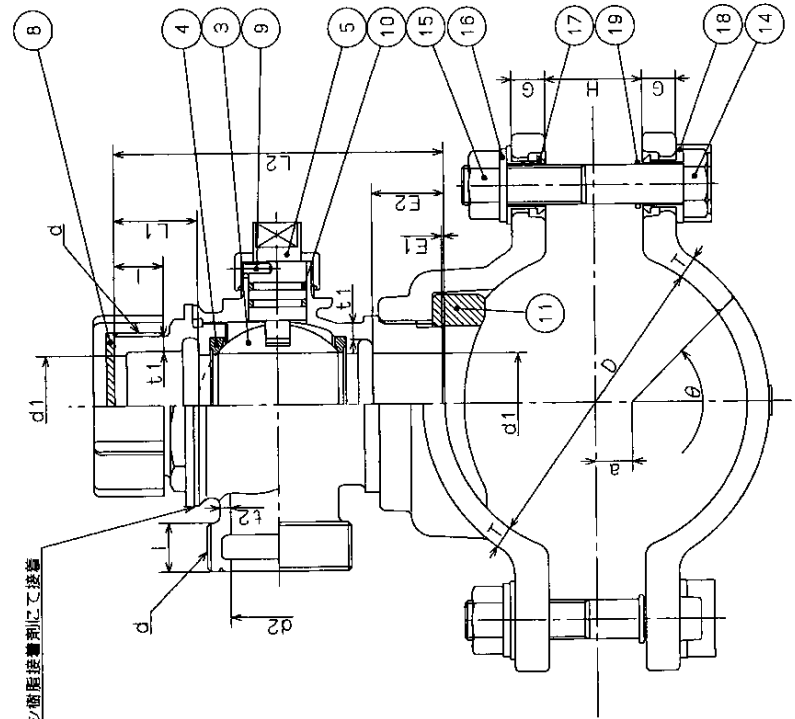
取付サドル機構の標準	D	T	B	G	ボール呼び	呼び長さ	W	a	theta	H
75	98	8.5	80	12	M16	90	-	-	-	40
100	125	9.0	80	14	M16	100	30	15	90°	40
150	179	9.0	80	15	M16	140	30	15	90°	80
200	233	11.0	100	18	M20	180	35	15	90°	100
250	287	12.0	100	18	M20	210	35	15	90°	134
300	341	12.5	100	18	M20	210	35	15	90°	134

寸法許容差表

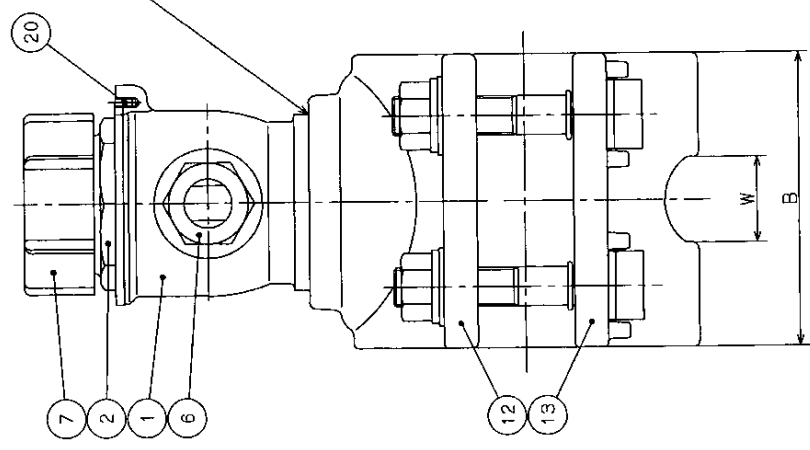
記号	公差	公差値 mm
L1	+規定寸	-0.5
t2	+規定寸	-0.5
d1	+0.3	-0
T	+規定寸	-2.0
B	+規定寸	-2.0
G	+2.0	-2.5

型式	SB-101-AS	
コード	SBA5-ABB-000	
部品コード	000	作成年月日 2024.7.22
尺	FREE	図法 三角法
株式会社	光明製作所	
製図	検図	技術承認
階元		

二液性エポキシ樹脂接着剤にて接着



二液性エポキシ樹脂接着剤にて接着



止水機構の呼び径	d	t1	t2	d1	d2	I	L1	L2	E1	E2	きり径	ボルト		W	a	φ	H	
												呼び径	長さ					
40	G2	5.0	4.0	41	40	20	40	140	1	24.0	38.1							
取付管の種類	DIP	75	98	8.5	120	12	M16	90	45	4	-							40
		100	125	9.0	120	14	M16	100	55	4	35	15	90°	40				40
		150	179	9.0	120	15	M16	140	60	4	35	15	90°	80				80
		200	238	11.0	160	18	M16	170	70	4	40	15	90°	100				100
		250	287	12.0	160	18	M16	200	90	4	40	15	90°	134				134
300	341	12.5	160	18	M16	200	90	4	40	15	90°	134				134		

注記

1. d1の呼び径はJIS B0202 B級とする。
2. t1, t2の許容差は $\pm 0.5$ とする。
3. d1の許容差は $\pm 0.2$ とする。
4. きり径の許容差は10以下は $\pm 0.2$ とする。
5. Tの許容差は10以下は $-0.1$ 以上は $-0.2$ とする。
6. Bの許容差は $\pm 0.2$ とする。
7. Gの許容差は $\pm 0.5$ とする。
8. 平圧金の寸法はJIS B1256による。

番号	品名	材質	個数	備考
20	止めビス	SUS304	1	M8×10
19	Oリング	合成ゴム	4	NBR
18	絶縁体(下)	合成樹脂	4	ポリカーボネート
17	絶縁体(上)	合成樹脂	4	ポリカーボネート
16	平圧金	SUS304	4	
15	ナット	SUS304	4	取付防止処理
14	ボルト	SUS304	4	
13	バンド	FCD450	1	取付防止処理
12	サドル	FCD450	1	取付防止処理
11	サドル用パッキン	合成ゴム	1	NBR
10	Oリング	合成ゴム	2	NBR
9	止めピン	SUS304	1	NBR
8	ガスケット	合成ゴム	1	NBR
7	鋼線キヤップ	CAC405	1	
6	保護ナット	CAC406C	1	
5	栓棒	CAC406C	1	
4	ボールシート	合成樹脂	2	PTFE
3	ボール	CAC406C	1	NPb処理
2	ボール押え	CAC406C	1	NPb処理
1	本体胴	CAC406	1	NPb処理

図名 協会型サドル付分水栓 (JWWA B117)  
図号 DIP 75~300×40mm

図番 SB-101-AS

型式コード SBB5-AEE-000

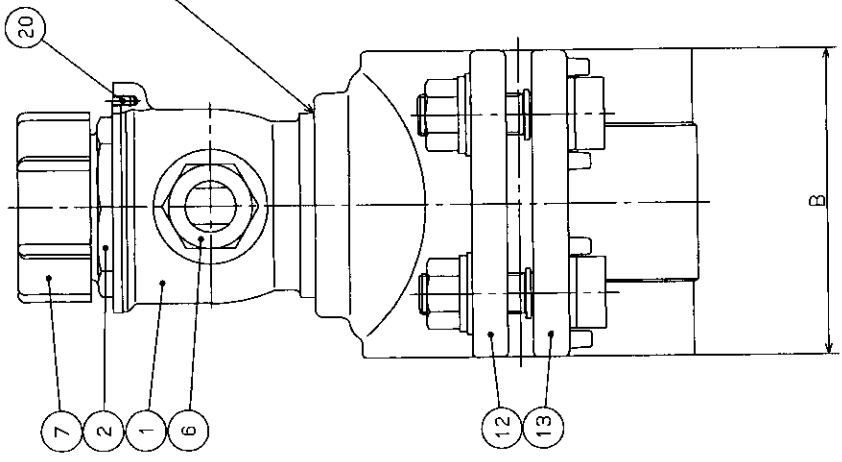
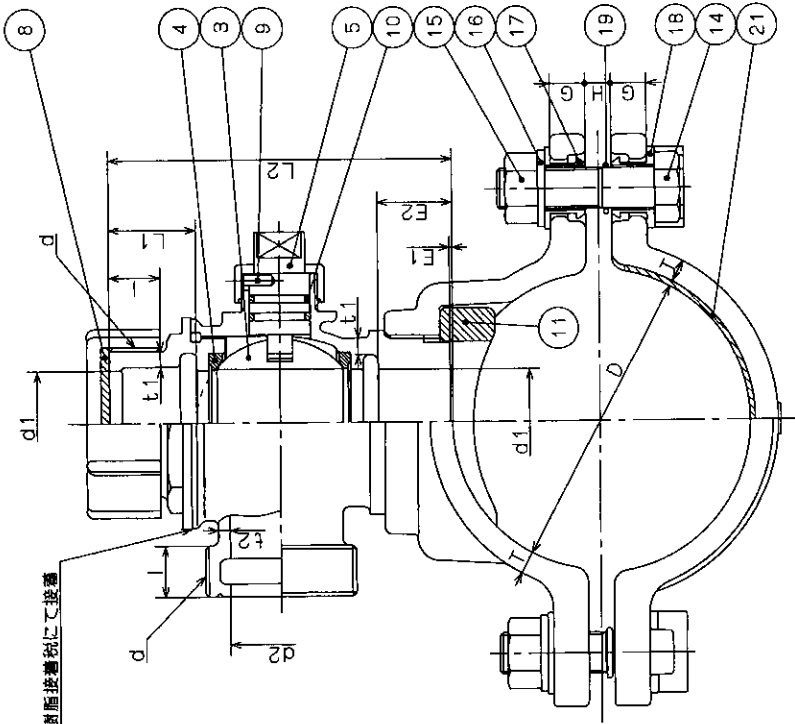
部品コード 000 作成年月日 2024.7.22

尺 度 Free 図 法 三角法

株式会社 光明製作所

製 図 検 図 技 術 承 配  
階元

二液性エポキシ樹脂接着剤にて接着



二液性エポキシ樹脂接着剤にて接着

21	ゴムシート	合成ゴム	1	NBR
20	止めピン	SUS304	1	MBX10
19	Oリング	合成ゴム	4	NBR
18	絶縁体(下)	合成樹脂	4	ポリカボネート
17	絶縁体(上)	合成樹脂	4	ポリカボネート
16	平座金	SUS304	4	
15	ナット	SUS304	4	焼付防止処理
14	ボルト	SUS304	4	
13	バンド	FCDA50	1	焼付防止処理
12	サドル	FCDA50	1	焼付防止処理
11	サドル用パッキン	合成ゴム	1	NBR
10	Oリング	合成ゴム	2	NBR
9	止めピン	SUS304	1	
8	ガスケット	合成ゴム	1	NBR
7	剛性キャップ	CAC406	1	
6	保護ナット	CAC408C	1	
5	枠棒	CAC408C	1	
4	ホルシート	合成樹脂	2	PTFE
3	ボール	CAC406C	1	NPb処理
2	ボール押え	CAC408C	1	NPb処理
1	本体胴	CAC406	1	NPb処理

注記

1. d1部ねじはJIS B0202 B級とする。
2. t1, t2の許容差は -0.5 とする。
3. d1の許容差は +0.2 とする。
4. きり径の許容差は10以下は +0.2 とする。
5. Tの許容差は10以下は -2, 11以上は -2.5 とする。
6. Bの許容差は -2 とする。
7. Gの許容差は ±0.5 とする。
8. 平座金の寸法はJIS B1256による。

止水機構の呼び径	d	t1	t2	d1	d2	G	B	T	D	ボルト				E2	E1	E2	きり径
										呼び	長さ	ねじ長さ	本数				
40	G2	5.0	4.0	41	40	20	40	20	40	140	1	24.0	38.1	H			
VP		75	91	7.0	120	12	M16	60	38	4	10						
SD		100	116	9.0	120	14	M16	70	38	4	10						
		150	167	9.0	120	14	M16	70	38	4	10						

株式会社 光明製作所  
製 図 検 図 技 術 承 認  
階元

図名 図番 SB-102-AS  
型式 SBB4-AEE-000  
部品 000 作成年月日 2024.7.26  
R Free 図法 三角法

番号 1  
図名 協会型サドル付分水栓 (JWWA B117)  
VS 75~150x40mm